

知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会

第10回 策定協議会議事録〈要旨〉

日時：平成20年8月22日（月）13:30～15:30

開催場所：知立市役所 4階 第7会議室

出席者：委員12名（欠席者1名）、事務局6名

〈議事次第〉

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告事項
 - 1) 第9回策定協議会議事録の確認
 - 2) UD基本計画について
4. 協議事項
 - 1) UD重点整備地区アンケート調査結果について
 - 2) 知立市UD推進計画（素案）について
 - 3) 重点整備地区詳細調査について
 - 4) 重点整備地区商店街住宅調査について
5. その他
6. 閉会

〈報告事項概要〉

◆1) 第9回策定協議会議事録の確認

事務局：資料1が前回協議会の議事録。

◆2) UD基本計画について

事務局：100部ほど印刷し、ホームページでPDFを掲示する。概要版も作成予定。

藤澤委員：一般に配布するよりも設計や建設に携わる人や、高齢者に絞って配布した方がよいと思う。

事務局：図書館や、市役所1階の資料が置いてある待合いに置きたい。

高木委員：広報でUDとは何か、という話ではなく、街をどうして欲しいのかを募集してはどうか。

事務局：8/1の広報に知立の街調査探検ツアーの募集を出し、一般参加者が11人になった。

野崎会長：UDという言葉を使う時には知立市の方々が知立市にとってのUDを説明できると良い。三重大の中先生から、老人や障害者に対する説明が不足しているといわれた。

森岡委員：QandAでの概要作成や、内容を簡潔にまとめたものを駅前に設置してはどうか。

〈協議事項概要〉

◆1) UD重点整備地区アンケート調査結果について

事務局：394件届いたが、有効回答は393件。資料3が報告書の本編。資料4は自由記述、ほぼ原文のまま載せたので市民の声として読んで欲しい。

高木委員：中町には公園は無い、無い公園に対して適当に○を打った人もいると思う。

事務局：自由記述にも公園がない、欲しいという意見は多かった。事務局としても受け止めている。

保田委員：UDを理解している人は少ないが、重視する事では回答なしが少ないのはどういうことか。

事務局：UDに対してよりも駅周辺について望むものを書いたのではないかと。また、ご案内文にUDの説明は書いてあった。理解度についての設問は啓発効果や次回のアンケートでの比較、今後の目標設定の元にもなる。公園についての補足、不満については道路と公園が多いが、重視して欲しい事としては道路が多いものの公園は多くない。

森岡委員：駅は乗り換えとして、通過地点としての利用が多い。利用料は60万人都市並。周辺住民だけでなく、そういった方も考えて欲しい。大学生だけでも一日に1000人以上。

兼子委員：ミニバスに乗ったが、イスの数が少なく障害者に優しくなかった。また、横向きの座席は子どもが振動で落ちる。アンケートでは58.3%が公共交通に満足だが、私は納得いかない。

高木委員：アンケートの満足度は駅周辺に住み、徒歩の人が多くことにも関係するのではないかと。

森岡委員：バスの座席には余裕がある。車体が小さいのは狭いところも走るため。小さいバスは衝撃が大きくならざるを得ない。バスと車いすのサイズの関係で座席の数には限度がある。横向きの座席は車いすが乗るところ、イスを跳ね上げると2台乗れる。

高木委員：シートベルトはあるか。

森岡委員：ある。

野崎会長：該当するテーマについて、満足度のグラフが欲しい。持ち帰ってまた次回に検討する。

◆2) 知立市UD推進計画（素案）について

事務局：資料5と資料6は推進計画の素案の資料。推進計画はUD実施の手順と具体的な手段について。重点整備計画は次回に素案を用意する。推進計画は平成21年から平成30年までの計画。今年度末に建設事務所などに見せていきたい。重点整備地区計画は500m範囲内。資料5の

P5～9は基本計画の再掲、P10と資料6の検討をお願いしたい。P10は各論の進め方の案、中間年とその後という形で内容を分けている。資料6は各論の案、まだ各課に出来るかどうか確認していない。資料5のP9と対応した部分は黒字で書かれており、赤字の部分について皆さんのアイデアを募集したい。基本計画で提示した全体的な方針である黒字の部分、具体的にするのが赤字の部分。

高木委員：ステッカーの原案を公募するというのは、基本計画のハートのことなのか。

事務局：ハートはフリー素材を使用している。ステッカーの募集というのは妊婦のマークを使ったりするような話。いらぬという意見があれば削る。予算の関係もあるのでまだ決定ではない。効果的なものがあれば追加するので意見をお願いしたい。

保田委員：10年という計画だが、駅の高架化は10年後に完成する。どういう扱いなのか。

田中委員：駅だけでなく全体的な話。駅が出来たときに幹線道路を用意しているが、たぶん間に合わない。今、市民を交えた研究会を行っている。

事務局：基本計画を推進する内容なので重点整備地区計画ではない。直接駅前に繋がるものではなく、これが決まらぬと駅が出来ぬものでもない。市内全体として考えた方がよい。

高木委員：幹線道路の幅は30mもいらぬと思う。小学校を潰すほどの意味があるのか。

田中委員：道路の幅は変えられないが、車線数を変えるなどの幅の使い方の変更はできる。どこの都市でも中心部に行くほど渋滞する、その解消が目的。今回は車道ではなく歩道の拡幅が主体。

保田委員：P6に重点整備地区の事が載っているがどういう扱いなのか。

事務局：重点整備地区についても含めて、全てが10年後に完成するわけではなく、その途中で完成するもの考える。

藤澤委員：計画は10年と言うことだが、駅前の建て直しの前にルールを作った方がよいのではないかと。

事務局：建物はガイドラインを元に整備する考え方でいる。駅周辺も含めた計画として考えたい。

野崎会長：再開発も含めて考え、街づくりの方などと横断的な会議を行うものありかなと思う。推進計画の各論に、市役所内にUD部署の設置と書いてあるがそういった事も必要なのではないかと。

事務局：事業案はクリアファイルに入っている用紙に意見を書き込んで、市へ送って欲しい。

◆ 3) 重点整備地区詳細調査について

事務局：詳細調査は駅前広場と池端公園、駅前から秋田病院までの道路で行う。市民の参加が11人と、市職員が数名参加する予定。ロゴの入ったベストを事務局で用意した、当日に名札と共に着用する。重点整備地区整備計画の案にしたいので、まとめの所ではどのように変えるのかを考えたい。市職員や事業者と共に実施する。また、今年は市民への露出を多くしていきたい、今後、チラシをつくって配布する予定。

◆ 4) 重点整備地区商店街住宅調査について

野崎会長：現在、アンケートの項目を詰めている。来週の中頃完成予定で、9月初旬から開始する。現状と、将来の希望についてを聞く。直接訪問形式で、学生7、8人と引率教師で行う。迷惑にならないよう、事前に町内会にお願いしておく。次回には経過報告が出来るかも知れない。

<その他>

◆ 1) 福祉便り

事務局：UD製品の載った福祉便りを五味委員より頂いた。ご覧下さい。

五味委員：どこで手にはいるか、値段はいくらなのか、といった反応があった。

◆ 2) SPコード

事務局：資料に記載する、文字情報を詰まった記号。専用の機械に読ませると、機械が音声で内容を読み上げる。パソコンで簡単に作成することができ、資料に切れ込みをいれることで視覚障害の方に存在を示す。1ページに記載出来るのは1つで、1つにつき800文字までの情報をいれることができる。また、音声の再生速度は何段階かに変更することが出来る。名古屋市では日常生活用具としているが、知立では検討中。

◆ 3) 協議会の今後の予定

藤澤委員：この会はいつ頃までにどうなるのか。

事務局：当初は平成18年10月から始まり、2年の予定だった。現在は予定を変更し、平成20年度中に見通しがつけば、と考えている。大筋のガイドライン、推進計画も形付いてきた。重点整備地区では駅舎や道路を対応させたい。

◆ 4) 交通死亡非常事態宣言

事務局：協議会とは関係ないが、知立市では交通死亡事故多発非常事態宣言を出している。交通事故絶滅のために最大限の努力をお願いしたい。

<閉会>

事務局：これをもって知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会を閉会する。